



SHINKAN PROGRAM

脳力覚醒メソッド“芯観”実践講座

石川先生、小沼さんからの感謝メッセージ

塚田：皆さん、こんにちは。この度は芯観実践講座にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。ナビゲーターの塚田紘一です。今日は感謝のメッセージということで、今回ご参加いただきました、6500名以上の方に向けてメッセージをお届けしていきたいと思っております。今日も石川大雅先生、小沼勢矢にお越しいただいております。よろしくお願いいたします。

石川：よろしくお願いいたします。

小沼：よろしくお願いいたします。

塚田：いやあ、ついに終わりましたね。

小沼：そうですね。

塚田：最後の最後まで皆さんのコメントや取り組みに助けいただきながら、という感じで。まずこんなに参加していただいたということがすごいですよね。

小沼：確かにそうですね。

石川：本当にありがたいですね。最初の第1話で申し上げましたけれど、やはり世の中で影響性がなければ何事もできないですからね。

塚田：最初そうですね、芯観という言葉がまだ知られていないという所から。

石川：ある意味で芯観は世の中に存在していなかったわけですから。

塚田：コメント欄には芯観という言葉がたくさん。

小沼：この漢字二文字が伝わるのかって思っていました。私も石川のもとに入った時はそう思い

ましたからね。皆さんのコメントも素晴らしく。私たちも見ていて、感動を覚えましたね。

石川：第4話のコメントで、「芯観はどういうふうになつたんですか？」というご質問といただいて、何十年ぶりに「芯観」という言葉を振り返りましたね。こういう意味で、こういう想いで名づけましたとお答えさせていただきましたが、ここまで「芯観」という言葉を受け入れていただいて、本当に感謝しています。

全員：本当にありがとうございました。

塚田：今回は感謝のメッセージなんですが、ただ感謝だけだとこれで終わりという感じになってしまうので、今回はせっかく長い時間学んでいただいたということがあるので、その学びをより自分の生活の中に活かしていくためのワンポイントのアドバイスもいただければと思っています。

ちょっと半ば言ってしまった所もあるんですけども、今回、コメントで多くいただいたものが、「ここまで言っていただいているんですか？」という所です。本当に「学ぶことが多かったです」というコメントも多くいただきました。せっかくそれだけのものがあつたので、皆さん思われていると思うのが、ここで学んだ知識をレッスン3で教えていただいた知恵化、実際に使える知識にしていきたいと思われているんじゃないかなと。そうしていくためのアドバイスがあつたらお願いできますでしょうか。

石川：知識を知識のままにしておくというのは、GoogleとかYahoo!さんとか人工知能に負けてしまうというのがありますよね。やはり知識を知恵化することが重要なことだと思います。知識は簡単に言えば「これは、こうだね」「これは、こうですね」とか「これは、こうだな」と要約的なことが言えるのが知識だと思うんですよね。それに対して、知恵化するというのは、「これは、こうだな」「これは、こうですね」というのをイメージしてみる。まず最初にイメージして、行動を実感できるイメージにしてみる。「できる実感」というのが知恵化する次の所です。

塚田：学んだことが、「自分がどう行動するんだろう」ということをきちんとイメージできると。

石川：そういうことです。ですから、こういう言葉が出てきたらいいと思いますね。「こうできるよね!」「こうできるなあ!」こういう言葉が出てきたら、知識が知恵化される一歩ですね。自分の中で行動移すことができるわけです。

塚田：なるほど。例えばレッスン2で教えていただいた、成功人格のステートを見つけるという所ですと、それが行動レベルで具体的に使えるというイメージ。

石川：そうですね。それが知識ではなく、知恵化しているわけですよね。知恵化するためには、「こうできるね」とか「こうできるな」という観点でできるを実感する「できる実感」というこ

とですね。それができてきたら知恵化している。

塚田：なるほど。

石川：さらにあるんですよね。知恵化するためには、これもイメージなんですけれども、「なれる実感」「得られる成果の実感」をしていただければいいなと。そのためには、どういう言葉かという、「だったら、こんなことが手に入るなあ」とか「だから、こんなことになるなあ」とか「だから、こうなれるなあ」。こうなったら、知識が知恵化にまさになっています。

塚田：行動するだけじゃなくて、そこから派生して得られるものまで腑に落ちているという。

石川：そういうことですね。ですから、知識を知恵化するためにはどうしたらいいかと言いますと、まず最初は「理解する」。次に「行動を実感する」。そして「得られる成果、手に入るものを実感する」。これで知恵化できる。知識が知恵化したということですね。

塚田：例えばレッスン2のコメント欄で書いていただいた方がいたと思うんですけど、「成功人格のステートを学びました。明日会社で休憩時間にやってみます」というのは、行動レベルまでできている。

石川：そうです、そうです。

小沼：そうですね。それなら行動レベルまでできている。

塚田：得られるものまでいくと、そこからさらに、例えば「すごく調子が良くなる」とか

小沼：それをやることで、どういうものが手に入るかですね。今、石川がイメージということを使ったと思うんですけども、なぜ、このイメージが大事なのかということをお科学的にお伝えします。やはり人間の行動って、イメージに支配されるんですよ。そういう原理・原則があるんですね。人間が行動するために必要なことって、実は行動力でもやる気でも、モチベーションでもなくて、1つだけあって。それは実感なんですよ。

塚田：実感なんですよ。

小沼：自分の脳が実感という、その感覚を感じれば、人間というのは勝手に行動するんですよ。ですから、その実感を生み出すために何が必要かと言えば、先ほどのイメージなんですよ。

塚田：行動のイメージと、成果のイメージですね。

小沼：なので、さっきイメージが大事だとお伝えさせていただきました。

塚田：レッスン1で教えていただいた、認識と実感は違うという。それはイメージの違いということなんですね。

石川：はい、そうですね。

小沼：そう、徹底的にイメージすると自覚が生まれるということです。

石川：知識を知恵にするために、30秒ワークを皆さんにプレゼントしたいですね。

塚田：ここでワークまで教えていただけるんですか！ありがとうございます！

石川：これは質問ですけれども、具体的にはどうするかというのを小沼さんから。

小沼：まとめると、ステップ1がさっき石川が言った、理解するというステップがあります。こういう質問をされるといいんですね。「この講座で、学んだことはどのようなことだろう？」この質問をして答えると、自分が学んだことが出てきますよね。こういうことを学んだなとか、成功人格について学んだなと。これが理解、ステップ1です。ステップ2が行動でしたよね。行動のステップに関しては、「学んだことで、具体的に行動できることはどのようなことだろう？」これがステップ2の行動の方です。こうすると行動ですから、行動が出てきますよね。成功人格を学んで、こういうことをやってみようとか。そして最後、ステップ3が成果。成果のステップは「行動したことで手に入るもの、成果はどのようなことだろう？」この質問をすると、具体的な成果のイメージが書き出せますよね。これを質問していただくと、今言った3つのステップが再現できるようになりますので。

塚田：知識が知恵化する30秒ワークですね。

石川：例えば動画とか、資料であるとか、本であるとか。そういうことから、今の3つを30秒ワークで書いていただくといいですよ。

塚田：本棚につまった本たちが、宝の山になっていくと。

小沼：じゃあ、塚田さんの方で今言った30秒ワークをちょっとやってみましょうか。

塚田：ぜひお願いします。

小沼：せっかくなので、塚田さんもこの講座で皆さんと一緒に学んだことでやっていきたいと思

うんですけれども。さっそく理解の質問で塚田さんが、「この講座で学んだことはどういうことですか？」ちょっとイメージしてもらって。

塚田：たくさんありすぎて、どれにしようかなという感じなんです。やっぱり特に印象に残っているのが「ジャンプジャンプ横」ですね。

小沼：ありましたね。コメントでもかなり多くのコメントをいただきましたよね、「ジャンプジャンプ横」。それが今の理解の所、ステップ1ですね。では次、行動のステップ。そのジャンプジャンプ横ですよ、「これを学んだことで、具体的に行動できることはどういうことですか？」

塚田：そうですね、普段も使っているのでイメージしやすいんですけども、仕事をしていてミスをした時、それを自覚した瞬間に気分が落ちることがあるんですが。

小沼：失敗人格ですね。

塚田：それもだんだん自覚できるようになってきたんですけども。その失敗人格に入ったなという瞬間に、ちょっと人気のない所、本棚の奥とかに行き、「ジャンプジャンプ横」をするという行動ですね。

小沼：いいですね、素晴らしいです。じゃ、最後、成果の部分。今言った行動をすることで、「手に入ること、もしくは成果はどういうものですか？」

塚田：それをすることで、失敗人格がそこで途切れるので、ミスが最小限に抑えられて、その結果トータルで自分が出していける成績は上がると思います。

小沼：このように答えていただくと、「ジャンプジャンプ横」の重要度の実感ですよ。イメージが高まったと思うんですよ。

塚田：そうですね！

小沼：なので、行動が促進されますよね。

塚田：ジャンプジャンプ横＝成績が上がるという。

小沼：そのイメージができますよね。

塚田：今、こうなったことで知恵になったということですね。

石川：そういうことです。

塚田：すごい！本当に早ければ 30 秒で終わる。これはじっくり考えてもいいんですか？ちょっと思い浮かばないなとなった時は。

石川：もちろんです。自分のペースでやっていただいで構いません。

塚田：ありがとうございます。これ、最後にすごいの教えていただいたなっていう（笑）

小沼：ぜひ、実践していただきたいと思います。

塚田：そうですね。もう一度まとめさせていただくと、知識を知恵化する 30 秒ワークということで、ステップ1が「この講座で学んだことはどのようなことだろう？」講座じゃなくても、学んだことはということで。ステップ2が「学んだことで、具体的に行動できることはどのようなことだろう？」ステップ3が「行動したことで手に入れられること、得られる成果はどのようなことだろう？」という3つのステップですね。

石川：そうすると、この 30 秒ワークというのを、何回も何回も、色んな本で読んだことでも、学んだことで繰り返していただくことで、知識が知恵化するスピードがものすごく速くなります。

塚田：30 秒かけなくても自然と学んだ瞬間にやれてしまうように。

石川：企業、会社の中の資料に関しても、ある種の知識ということが多いんですね。なので会議の資料そのものも知恵化できるようになれば、すごいことですよ。

塚田：すごいですね。1 分 1 秒が得られるものになっていく。

石川：ぜひ、使っていただければなと思います。

塚田：ありがとうございます。では、ここでいったん学んだことの復習まで含めてお伝えさせていただきました。せっかくなので、皆さんに対して石川先生、小沼さんから感謝のメッセージということでいただきたいと思います。では小沼さんから。

小沼：ここまで長時間動画をご覧いただきまして、本当にありがとうございました。今回、私たちとしても芯観という考え方をお伝えさせていただいて、私たちの中でも当初は「ちゃんと伝わるかな」とか「ちゃんと皆さんに芯観を使っていたら、成果を実感していただけるかな」というのを、正直不安な部分もありました。けれども、皆さんと全4回の動画の中で、色々コメントを拝見していただき、また私たちもそれにお答えしていく中で、本当に参加されている皆

さんの熱とか想いとか。この芯観を使っていただける方は本当に素晴らしい方々だというふうに実感しました。ぜひ、これからもこの芯観という考え方をきっかけにして、皆さんの仕事だったり生活に役立てていただければこれ以上ないことだと感じております。本当に長時間動画をご覧いただいて、ありがとうございました。また、芯観のプログラムに参加される方ですね、直接、石川、そして私にもお会いする機会がありますので、ぜひその場で私たちと一緒に学んで芯観という考え方を一緒に広めていける仲間として共に頑張っていければと考えております。またお会いできることを楽しみにしております。

塚田：小沼さん、ありがとうございました。それでは石川先生、よろしく申し上げます。

石川：私からのメッセージですが、本当に私はコンサルタントになってから企業中心、または組織の方々を中心としてコンサルティングを展開させていただきましたので、このような形で皆さん方と絆が持てるということに本当に感謝しております。参加をしていただいて、動画を観ていただいて、本当に長時間だったと思いますが見続けていただいて、本当に感謝しております。ありがとうございます。ですから、動画を通じての絆、さらに私どもと講座を通じて直接会える方に関しましても、さらに絆を深めていきたいなと考えております。本当に感謝です。ありがとうございます。

塚田：ありがとうございました。では、芯観実践講座はいったんこちらで終了という形になるんですけども、これでもう完全に終わりというわけではなく、今後も有益な情報、それから実は、最後にちょっとお知らせなんですけれども、これから石川先生の本の発売が決まっていますね、その情報もお伝えしていきたいと思っています。なので、ぜひこの芯観実践講座からのメールは今後も有益な情報をお届けしていきますので、楽しみにご覧になっていただければと思います。最後に私はお伝えいただいたんですけども、芯観プログラムに参加される皆さま、ここから3ヶ月、ないし4ヶ月、よろしく願いいたします。それでは、こちらで終了となります。ありがとうございました。

石川・小沼：ありがとうございました。